

私は、専門分野である農業土木設計のコンサルタント業に就いて、18年間が経ちました。

大学の頃は、一般土木を専攻してきましたので、農業土木は全く未知の分野でありましたが、途中で方向転換等は一切考えたことは無く、今日まで仕事に取り組んできています。農業土木の仕事は、農地や農業用水施設等の使い手である農家の方と直接対話をしながら、設計プランを組み立て、

農家の方も発注者の方も満足できる方針を三位一体となって作り上げていく過程が有り、色々な折衝が生じて大変な面も有りますが、そこにやりがいを感じています。農地や水利施設の設計においては、営農作業のし易さへの配慮や、施設の更新整備の際には、使用方法の改善を検討する等、きめ細やかな工夫や配慮が求められることが農業土木の特色のひとつであると考えています。このほか、美しい自然や豊かな農村景観に関わり、良い環境に身を置いて仕事をする事が出来ることも魅力です。

私が技術士の資格取得をしようと思った当時(H21頃～H25)は、上司である技術士からの勧めによるところが大きかったのですが、資格取得を通じて、技術者としての意識の持ち方、相手に伝わるポイントを押さえた対話や説明の仕方等、その過程から修得出来たものが色々と有りました。

資格取得後も、資格の名に恥じない仕事をしようという行動力のひとつになっています。現在は、立場的に中堅技術者で、管理技術者として業務に携わることが多くなっています。多岐の仕事に関係していますので、今後はより幅広い見識の習得、i-construction 関連の新技术導入等にも積極的に取り組み、技術研鑽に努めることと、一緒に仕事を行っていく後進の育成等に注力したいと考えています。

野倉 士敬(のくら ただたか)

●農業部門(農業農村工学)

勤務先

株式会社 農土コンサル



⇒次号は、大森洋介さん(建設部門)

私は函館で生まれ、室蘭で学び、現在は帯広のコンサルタント会社に勤務してます。生粋の道産子です。大学では情報工学を学び、卒業後はSEとして今の会社に入社、GIS構築やソフトウェア開発をしていました。そんな中、入社4年後の2002年(平成14年)、社内で精密農業に関する事業をすることになり、精密農業にはGPSやGIS等の情報技術がキーになるということで、農業部門に異動。現在、可変施肥等のスマート農業事業や農業全般の調査・計画を行ってます。

このような経歴ですので、生粋の道産子とは言え、2002年までは農業と無縁の人生。初めの頃は小麦畑と牧草地の区別もつかなく、まさに“畑違い”からのスタートでした。その後農学系の大学院に行き、また技術士は諸先輩方の熱いご指導ご鞭撻のおかげで、初受験から7年目で渋谷まで到達しましたが、見事に撃沈。翌年同じ面接官にリベンジし、丸8年で農業部門の技術士に合格できました。

そんな私ですが、今では仕事に加え、年齢も影響してか、パソコン関係よりも家庭菜園の方に興味があります。毎年家族からの定番作物はもちろん、新たな作物にもチャレンジしてます。これまで、さつまいも、オクラ、赤シソ、アスパラ、かぼちゃ、みょうが等、なかなか家庭菜園ではやらない作物を育てていますが、案の定失敗の連続。「あ？植える場所間違った」「う！発芽しない！」「え？葉がデカくて隣の作物に被ってる！」など想定外のこともあります。お！花がキレイ！」「おいしい！」等々、毎年新たな発見を楽しんでいます。仕事でも思った通りに行かないことが多いですが、日々の発見を楽しみにこれからも頑張ります。

横堀 潤(よこぼり じゅん)

●農業部門(農村地域計画)

勤務先

株式会社ズコーシャ
総合科学研究所



⇒次号は、河原畑正也さん(農業部門)